

調査項目（案）について

- ▶ 学生への負担や回収率の減少等を勘案して、項目数は最大でも10問程度、可能な限り厳選すべきではないか。

★：国立教育政策研究所「大学生等の学習状況に関する調査」と同一の質問項目
 ※：想定される検討事項など

I. あなたご自身のことについて

【1】属性について、以下に該当している場合は選択してください。

1. 編入生 2. 外国人留学生 3. 科目等履修生

【2】大学名を選択（記入）してください。

※例えば大学ごとに回答WEBページのURLを変えるなどにより、大学名は選択（記入）しなくても良いようにした方が良いか。コストも含めて要検討。

【3】学部名を選択（記入）してください。

※選択方式にした場合、事前に対象大学の学部を把握する必要がある。最新の学部ではなく、対象学年の在籍学部を把握する必要があるため、各大学に調査への参加の可否を事前調査する時点で聴取する。（通信教育課程も選択肢として用意）

★【4】学科（専攻）の系統を選択してください。

1. 文・外国語・国際・文化系 2. 法・政・経・商・社系 3. 理・工系 4. 農系 5. 薬系
 6. 医・歯系 7. 看護・保健系 8. 教育・教員養成系 9. 福祉系 10. 家政・生活系
 11. 芸術系 12. スポーツ系 13. その他

※系統の分類が分からない時のために、回答WEBページに解説を入れた方が良い。

【5】昼間部／夜間部の在籍状況（通信教育課程、科目等履修生は除く）

1. 昼間部 2. 夜間部

※その他想定される質問項目（国立教育政策研究所「大学生等の学習状況に関する調査」より）

- ・性別 ・年齢
- ・現在住んでいるところ（自宅/学生寮 等） ・学校の所在地 ・片道の通学時間
- ・現在の住所（都道府県レベル） ・入学前の住所（都道府県レベル）

※学籍番号は入力しなくて良いか。

Ⅱ. 大学での授業・学修等について

★【6】最近1週間(7日間)の生活時間について、当てはまる時間数を選択してください。

項目	最近1週間(7日間)の生活時間(単位:時間)							
	0	1-5	6-10	11-15	16-20	21-25	26-30	31以上
1. 大学の授業	1	2	3	4	5	6	7	8
2. 大学の授業の予習・復習など	1	2	3	4	5	6	7	8
3. 卒業論文・卒業研究	1	2	3	4	5	6	7	8
4. 大学の授業以外の学習	1	2	3	4	5	6	7	8
5. 部活動/サークル活動	1	2	3	4	5	6	7	8
6. アルバイト/定職	1	2	3	4	5	6	7	8
7. 就職活動	1	2	3	4	5	6	7	8
8. 娯楽・交友	1	2	3	4	5	6	7	8

※項目について、学習時間(1.～4.)に絞ってはどうか。

※選択した時間の合計が168時間以上(24時間×7日間)となる場合は、矛盾として次の質問項目に進めないように設定した方がよい。

★【7】これまで受けた授業の形態について、全体が10割になるようお答えください。(足して10割になるように、おおよその割合をお答えください。)

講義 (100人以上)	講義 (50人以上100人未満)	講義 (50人未満)	演習・ゼミ	実験・実習
割	割	割	割	割

※整数からの選択として上で、合計が10割以上となる場合は、矛盾として次の質問項目に進めないように設定した方がよい。

★【8】これまで受けた授業では、次の項目について

- A. どれくらいありましたか、それぞれの項目について、「①ほとんどなかった、②あまりなかった、③ある程度あった、④よくあった」から当てはまるものを選択してください。
- B. その頻度は適当だと思いますか、それぞれの項目について、「①減らして欲しい、②現状でよい、③増やしてほしい」から当てはまるものを選択してください。

項目	A. 回答	B. 回答
1. 授業内容の意義や必要性を十分に説明してくれる		
2. 理解がしやすいように教え方が工夫されている		
3. TA(ティーチングアシスタント)などによる補助的な指導がある		
4. 小テストやレポートなどの中間課題が出される		
5. 適切なコメントが付されて課題などの提出物が返却される		
6. グループワークなど、学生が参加する機会がある		
7. 主に英語で行われる授業(語学は除く)		

※「B. 頻度は適当か」どうかについては、満足度とも置き換えることができるため、【8】と統合し、ここでは「A. どれくらいの頻度があったか」のみとしてはどうか。

【9】大学の教育内容等にどの程度満足していますか。

- それぞれの項目について、「①まったく満足していない、②あまり満足していない、③満足、④とても満足」から選択してください。【大学IRコンソーシアムと同一の質問項目】

項目	回答
1. 共通教育あるいは教養教育の授業	
2. 初年次生を対象とした教育プログラム内容(フレッシュマンセミナー、基礎ゼミなど)	
3. 専門教育あるいは所属学科の授業	
4. 2年次または3年次生を対象としたゼミ(演習)などの教育内容	
5. 授業の全体的な質	
6. 日常生活と授業内容との関連	
7. 将来の仕事と授業内容の結びつき	
8. 教員と話をする機会	
9. 個別の学習指導や援助(履修相談など)	
10. 他の学生と話をする機会	
11. 大学のなかでの学生同士の一体感	
12. 多様な考え方を認め合う雰囲気	
13. 大学での経験全般について	
14. 1つの授業を履修する学生数	

※項目について、「学習施設・設備」や「キャリアカウンセリング(就職や進学に関する相談)」を追加してはどうか。

★【10】次の項目の点で大学の授業は、

A. どのくらい役に立っていると思いますか。

B. また、自分の実力はどの程度あると思いますか。

それぞれの項目のA. B. について、当てはまるものを選択してください。

項目	A. これまでの授業経験は				B. 自分の実力は			
	役に立 ってい ない	←	→	役立っ ている	不十分	←	→	十分
1. 専門分野に関する知識・理解	1	2	3	4	1	2	3	4
2. 文献・資料・データを収集する力	1	2	3	4	1	2	3	4
3. 理論的に文章を書く力	1	2	3	4	1	2	3	4
4. 人に分かりやすく話す力	1	2	3	4	1	2	3	4
5. 外国語の力	1	2	3	4	1	2	3	4
6. ものごとを分析的・批判的に考える力	1	2	3	4	1	2	3	4
7. 問題を見つけ、解決方法を考える力	1	2	3	4	1	2	3	4
8. 幅広い知識、もののみかた	1	2	3	4	1	2	3	4

※授業経験が役に立っているか否か、自分の実力は十分か否かを問うよりも、身に付けた能力として、入学時からの変化に関する自己評価を問うこととしてはどうか。

※項目について、「一般教養に関する知識・理解」や「コミュニケーション能力」を追加してはどうか。

【11】大学での学びについて、御意見などがあれば自由に記載してください。(自由記述)

【試行調査時のみを想定】

※その他想定される質問項目(国立教育政策研究所「大学生等の学習状況に関する調査」より)

- ・履修登録科目数及び取得済単位数
- ・授業に対してどのように取り組んでいるか
(項目:①先生への質問や勉強の仕方の相談、②良い成績の取得、③グループワークやディスカッションへの参加、④必要な予習や復習)
- ・経験の有無及び有用だったか否か
(項目:①体系的なガイダンス、②スタディ・スキルを学ぶ科目、③キャリアをテーマとした科目、④短期の海外留学)
- ・成績(取得単位の評価の割合)
- ・GPA(制度の有無、実数)
- ・卒業後に最も希望する進路(入学時・現在)